



季刊誌「むらのおと」

Vol. 43
2024.Autumn

vol.43
2024
Autumn



2024年10月20日発行
●発行/「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX.054-221-2809



mura note file
むらの声
●石部赤根田村百笑の里(賀茂郡松崎町)
●上長窪地区(駿東郡長泉町)
一社一村しずおか運動
●ささま(島田市川根町)
●小谷あゆみのむらレポ Vol.31
●日本一の水わさびの邑(伊豆市)
フォトコンテスト
イベントカレンダー




農村 × 企業・大学 「むらマッチ」

ニーズと得意分野をマッチング。



人材育成や地域貢献、新商品開発等に向けて、魅力的な地域資源をもつ農村地域を紹介
農村と企業・大学の協働活動による新たな取組を
静岡県が手厚くサポートします



<https://www.shizuoka-murasapo.net/muramatch>  



CONTENTS

むらの声 mura note file

03 #01 石部赤根田村百笑の里
(賀茂郡松崎町)

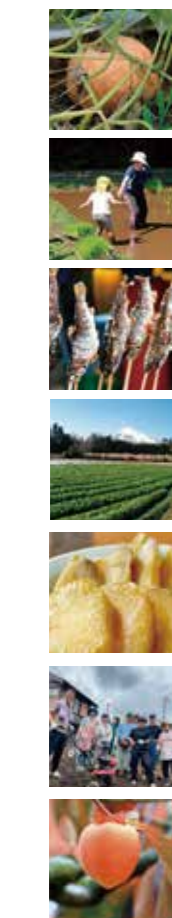
05 #02 上長産地区
(駿東郡長泉町)

07 地域 × 企業等
ささま (森づくり S川根・NPO)
(島田市川根町)

09 小谷あゆみのむらレポ Vol.31
日本一の水わさびの邑
(伊豆市)

11 フォトコンテスト

13 イベントカレンダー



表紙 / 裾野市深良 (ふじのくに美しく品格のある邑: 深良地区)

稲刈り前の黄金色に輝く田んぼと雄大な富士山のコラボレーションが美しい1枚。深良地区には世界かんがい施設遺産に登録された「深良用水」があり、地域の農業を支える重要な施設となっています。第8回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入賞作品
「収穫前の仕事」 鈴木 常雄



島田市川根町拔里 (ふじのくに美しく品格のある邑: 拔里)
しずおかむらたび秋 2023 Instagram フォトコンテスト入賞作品
「運転再開」 / 撮影者: @chiaki_mame

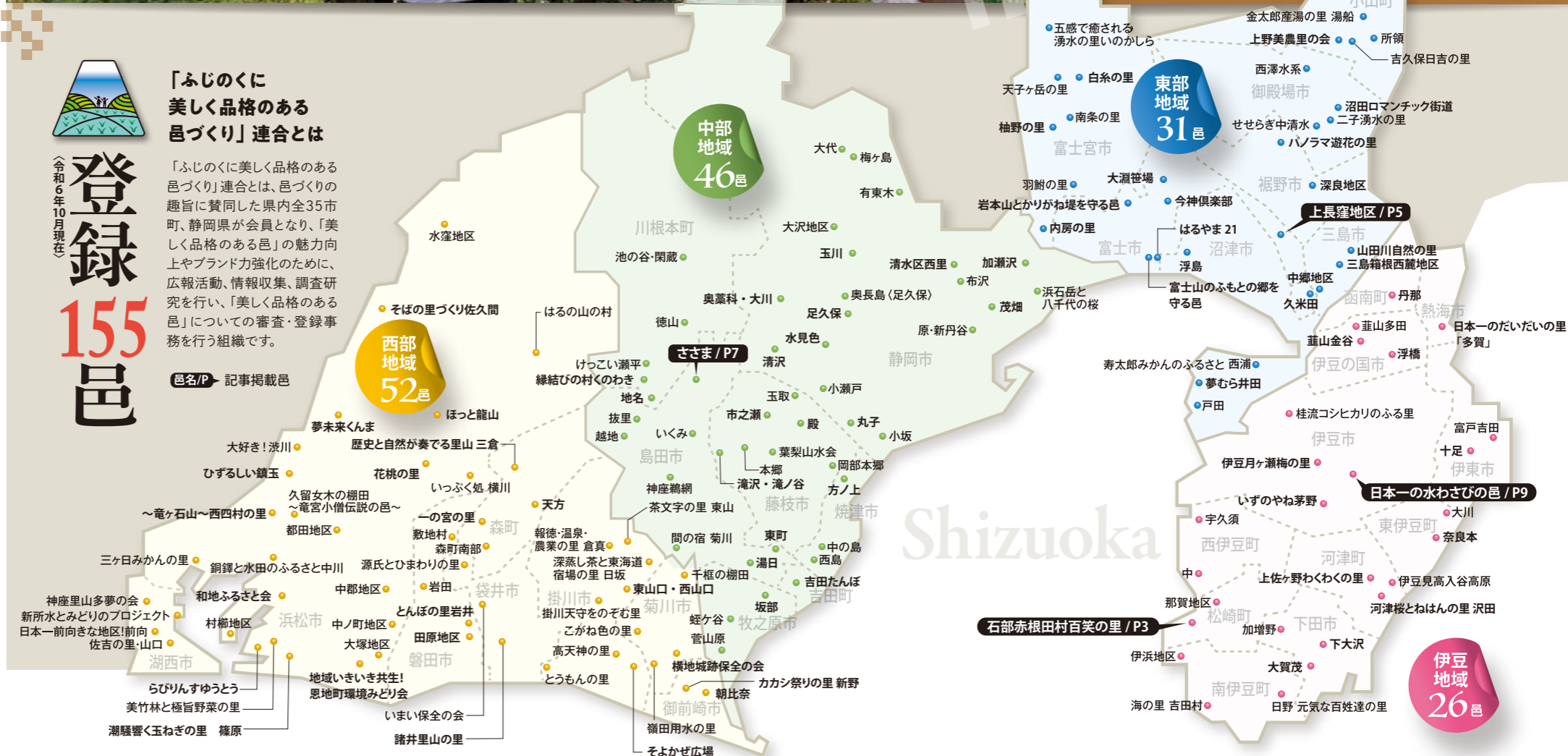


令和6年10月現在
登録
155
邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑



ふじのくに美しく品格のある邑って?

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和6年10月現在で155の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、155の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳細情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

EVENT INFORMATION

石部の灯り ～心を癒やす棚田のきらめき～

[5月下旬 17:00～21:00]



石部は昔「石火」と呼ばれ、岩に神が宿るとして、火を燃やして海上交通の目印にするなど、火に縁のある地区でした。この故事にちなみ、棚田の畦に約1000個のろうそくを点灯し、幻想的な景色を再現します。おすすめは夕暮れ時。刻一刻と表情を変える風景に心奪われます。

●松崎町石部
☎0558-42-3964 (松崎町役場 企画観光課)



①桜葉の生産量日本一を誇る松崎町。桜葉は桜餅など菓子に使われるため、傷がつかないように細心の注意を払いながら、手で1枚1枚丁寧に摘み取ります。

②松崎町で目を引くのがなまこ壁。昔ながらの町並みと左官技術を伝承するべく、なまこ壁技術伝承事業の一環として、民家のブロック塀にもなまこ壁が施工されています。

棚田 × 富士山の絶好の撮影スポット 石部棚田展望台



眼下に石部の棚田、駿河湾、遠方には富士山、南アルプスを見渡すことができます。石部棚田を撮影するならここがおすすめ。ドライブがてらぜひ立ち寄りみてください。



石部棚田振興協議会は、ガイドードリンコ株式会社と「一社一村しずおか運動」を締結しています。同社との協働活動として、駐車場に設置されている自動販売機の売上の一部は石部棚田振興協議会に寄付されます。同社は、棚田オーナー制度への参加や保全活動時の飲料提供も行っています。

●松崎町石部
☎0558-42-3964 (松崎町役場 企画観光課)

伊豆半島西側の先端にある、石部棚田。標高1200、250メートルに広がる約370枚、4.2ヘクタールの田んぼは、東日本では珍しい石積みみの棚田です。山と棚田と集落、そして海まで一度に見渡せる石部の風景は、まるで小さな日本列島のようなのです。

江戸時代以前から続く歴史ある棚田ですが、今から20数年前は減反政策や農家の高齢化により耕作放棄が進み、辺り一面が山林原野と化していました。

「松崎町が誇る棚田を核として、町に活気を取り戻したい」と声を上げたのは、当時の自治会長でした。その声をきっかけに地域住民が立ち上がり、石部棚田保全推進委員会を発足。棚田を単なる「生産の場」と捉えるのではなく、町内外の人たちと触れ合う「交流の場」として復活させるべく、2000年の年明けとともに復田作業が開始されました。

「地域住民やボランティア約300人の協力のもと、100日余かけて約12アールの棚田が蘇りました」と山本公さんは振り返ります。その2年後には棚田オーナー制度を導入し、成果を上げています。

「当初60組でスタートしたオーナーも、現在では110組前後となり、リピーター率は9割にもおよびます。棚田保存会のメンバーが田植えや稲刈りを指導したり、オーナー同士で教え合ったりと、

石部棚田を拠点に交流の輪が広がっているようです」

さらに、邑の宝を未来へ引き継ぐために、若い力を取り込もうと、常葉大学社会環境学部や地域おこし協力隊と連携し、棚田の保全作業はもちろん、石部棚田の魅力を伝えるイベントの企画・運営を行っています。

今後の課題について、「日々の農作業を支える人手が不足しています。裾野を広げるために、今後は農作業だけでなく、もっと気軽に楽しんでもらえる体験メニューを増やしていきたい」と山本さん。松崎町の魅力を知るきっかけになればと意欲的です。

ぜひにきて!



松崎町に残る美しい里山の風景

石部棚田は、東日本では珍しい石積みみの棚田で、駿河湾を眼下に、富士山や南アルプスを臨む絶好の場所にあります。棚田は、現在オーナー制度で運営され、11月から令和7年度の募集が始まりますので、お申し込みをお待ちしています。また、棚田の黒米で作られた焼酎やうどんなどはお土産として販売されていますので、ぜひご賞味ください。

【とまろ】

やまもと こう
山本 公 さん

松崎町出身。松崎町役場に勤め、主に企画・観光の仕事に従事し、棚田オーナー制度の導入や全国棚田(千枚田)サミットを開催。定年退職後、令和2年から石部棚田振興協議会会長を務めている。

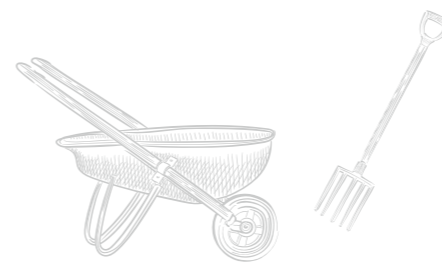


耕作放棄が進んでいた頃の石部棚田。

mura note file
むらの声 #01

石部棚田が人と人をつなぎ 邑の新たな魅力を育む

今から20年以上前にはじまった石部棚田の復田活動。
石部棚田には、人と人、時代や文化をつなげる力がある。



棚田の畦付け・畦塗りの様子。棚田オーナーや常葉大学の学生、地域おこし協力隊など、総勢80名以上が参加。



石部赤根田村百笑の里
いぶあかねだむらひやくしょうのさと

賀茂郡松崎町石部

●車/東名高速沼津インターから国道136号線で松崎へ
●電車・バス/伊豆急下田駅から東海バス「松崎行き」または「堂ヶ島行きバサラ峠経由」で松崎へ

園児がお米を「作る・売る・食べる」 遊休農地が体験学習の場に



上長窪地区
かみながくぼちく

駿東郡長泉町

- 車 / 東名高速沼津インターまたは新東名高速長泉沼津インターから約10分
- 電車 / JR 御殿場線 長泉なめり駅下車、タクシーで約2.5 km

桃沢幼稚園の園児たちと一緒に米作りをしている上長窪地区。桃沢川の清流を引き込んで、かけ流しで育てる「桃沢コシヒカリ」は絶品。



収穫したお米は園で精米し、子どもたちが袋詰めして販売します。毎年売り切れ必至の人気商品です。

自分たちで育てたお米で、ご飯を炊いて、おにぎりを握って、おにぎりパーティー！命をいただくありがとうございました。

園児たちに喜んでもらおうと、数年前に畑で巨大カボチャを栽培。運動会の大玉転がしで大活躍しました。

愛鷹山麓の東斜面に位置する丘陵地、上長窪地区。愛鷹山を水源とする桃沢川は豊富な水量と清流に恵まれた全長約7キロメートルの一級河川で、上長窪を貫流して黄瀬川に注いでいます。

そんな豊かな自然に恵まれた上長窪地区ですが、農業従事者の高齢化と後継者不足により、もともと45戸あった農家が27戸にまで減少。農地の荒廃が深刻な問題となりました。

そこで、2008年に「ながくぼの会」が発足。地域の農業従事者や自治会のメンバーが一丸となり、11アールにおよぶ遊休農地を整備して見事な農地に復元。農用地や水路、農道などの保全活動を行っています。

会の幹事を務める加藤俊明さんは、「定年退職後、地域の子どものために何かできることはないかと思っていた矢先、桃沢幼稚園の先生から、園児たちに農業体験をさせたいとの相談を受けました。そこから幼児教育体験事業として米作りがスタート。



今年で16年目になります」と話します。

春の種まきにはじまり、田植え、秋の稲刈り、4月に行われる親子でどろんこになって遊ぶイベントでは、大人も子どもも大はしゃぎだそう。隣の畑ではじゃがいもや玉ねぎなど、旬の野菜を育てて収穫体験を行っています。

「収穫したお米は、『おにぎりパーティー』をして試食したり、『桃沢コシヒカリ』と

神秘的な空気に包まれる長泉最強のパワースポット
愛鷹山水神社
桃沢川の源流にある、龍神をまつる愛鷹山水神社。昔から「すいじんさん」の愛称で親しまれています。山奥にありながら、海洋渡航者や漁師などから水難守護、大漁祈願の神として信仰を集めています。



● 駿東郡長泉町元長窪1 ☎ 055-987-5161 ● 受付時間 9:00~17:00

遊びに来！

よつみぞがき
四ツ溝柿



四ツ溝柿は、静岡県から神奈川県にかけて自生している法柿です。長泉町の特産物で、その名の通り、四つの溝がある可愛いハート形が特徴です。農産物直売所「長泉産直市」で販売しています。

長泉産直市
● 駿東郡長泉町下土狩1029-1 ☎ 055-988-1554
● 営業時間 9:00~17:00
● 定休日 第2水曜日、年末年始

かとうとしあき
加藤 俊明 さん (左)

長泉町上長窪出身。「ながくぼの会」幹事。長泉町役場を定年退職後、会社に勤務する傍ら、農作業や会の活動に尽力。



かとうしのぶ
加藤 忍 さん (右)

長泉町上長窪出身。「ながくぼの会」幹事補佐。定年退職後、地域のさまざまな活動に従事する。

長泉町生まれの「四ツ溝柿」をご賞味あれ！

富士山麓の肥沃な土壌を生かして、露地野菜や果物の栽培も盛んです。なかでも「四ツ溝柿」は絶品で、独特の深味のある甘みと柔らかい果肉が特徴。「しずおか食のセレクション」にも認定されました。旬の10月中旬から2月上旬までは、農産物直売所「長泉産直市」に並びます。ぜひ一度、食べてみてください！

品びとマッセージ



お互いの強みや魅力を共有し合い 無理せず楽しくこの先も！

2009年にスタートしたナカダ産業との協働活動。コミュニケーションを密にとりながら、笹間の魅力とナカダ産業の強みを共有し合える活動を模索して実践している。

笹間の魅力を知ってほしい

山の深い緑に囲まれた森林率88%の山村、笹間地区。この笹間の森を100年先も守るために、ささま活動に勤しんでいるのが「ささま(森づくりS川根・NPO)」です。島田市の陸上ネットの総合メーカー、ナカダ産業と協働を始めたきっかけについて、理事長の岡村尚さんは、「笹間の魅力を一人でも多くの人に知ってもらおうと、一社一村しずおか運動を通じて交流がスタートしました。ナカダ産業の社員とそのご家族に笹間に足を運んでもらい、原木しいたけの菌打ちや収穫体験、やまめのつかみ取り、そば打ち体験など、四季折々の笹間の豊かな自然を満喫していただくイベントを行っています」と話します。

社員が楽しめるイベントに

これまでの活動を振り返り、ナカダ産業の代表取締役社長である蓑川の人さんは、「最初は農作業のお手伝いがメインでしたが、収穫などの

ささま (森づくりS川根・NPO)
ささま (もりづくりえずかわね・えぬびーおー)



島田市川根町

- 車/新東名高速道路島田金谷インター約45分
国道1号線向谷ICから約45分
- 電車/バス/大井川鉄道「家山駅」から「出本」下車



一社一村しずおか運動

企業と農村が協働活動することで
静岡の農山村地域の活性化を図る運動です。



原木しいたけの菌打ち体験。笹間の山から切り出したナラなどの原木に穴を開けて植菌。2年寝かせた後に収穫が待っています。

ださ。周りの防球ネットをすべ張り替えてもらいました。さすがプロの技です。芝生張りも社員の皆さんが手伝ってくれたんですよ」と窓の外を指さす岡村さん。最後に、長く続ける秘訣についてこう話します。「それぞれの強みや魅力を生かしながら、お互いに無理をせず、楽しむことです。目にみえる結果はすぐに出ないかもしれませんが、地道に続けていくことで着実に、笹間が元気になっていくと感じます。今年も来たよって声をかけてもらえると、次への励みになりますね」。



サル、シカ、イノシシの生態や被害軽減対策をテーマに、専門講師を招いて講演会を実施。住民約20名が参加し、質疑応答では活発な意見交換が行われました。



期待できる効果

地域のメリット

～ささま (森づくりS川根・NPO) にとって～

- ・ 笹間の魅力を知ってもらうきっかけになる
- ・ 笹間の関係人口が増える
- ・ 笹間に元気や賑わいが生まれる

企業のメリット

～ナカダ産業株式会社にとって～

- ・ 地域社会に貢献できる
- ・ 普段できない自然体験ができる
- ・ 社員同士やその家族との交流が深まる
- ・ 息ぬぎの場になる



グラウンドの芝生もご覧の通りの美しい仕上がりとなりました。

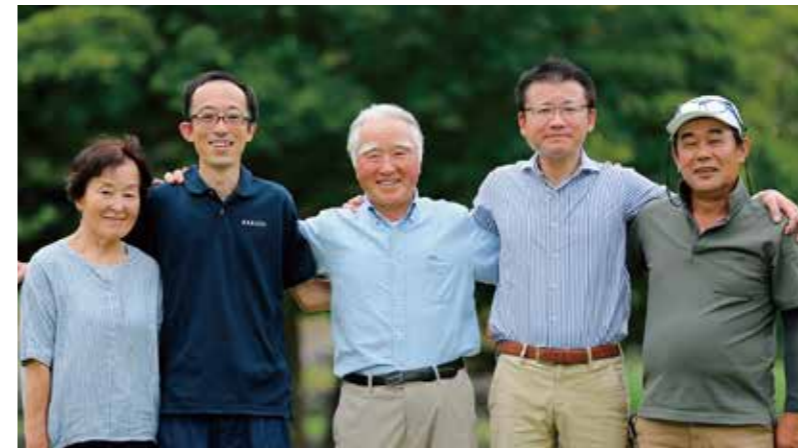


自然の中で遊びながら学べる体験宿泊施設 山村都市交流センターささま



協働活動の拠点となっている山村都市交流センターささま。2006年に廃校になった旧笹間小学校をリノベーションし、宿泊施設に生まれ変わりました。笹間地区の豊かな自然を生かした生活体験学習や、スポーツや文化などの活動の場となっています。

● 島田市川根町笹間上394
☎ 0547-54-0661 [受付] 8:30~17:00 火曜定休



取材に協力してくれた皆さん。左から原木佐和子さん(森づくりS川根・NPO副理事長)、横田川大輔さん(ナカダ産業総務課)、岡村尚さん(森づくりS川根・NPO理事長)、蓑川の人さん(ナカダ産業代表取締役社長)、根岸久さん(山村都市交流センターささま館長)。



笹間川の一面を囲い、約60匹のやまめを放流してつかみ取りを体験。笹間の自然に抱かれて味わうやまめの塩焼きや流しそうめんは絶品！

伊豆のわさびを語る上で欠かせないのが、筏場のわさび田です。その涼しげな絶景は観光スポットとしても人気で、階段状に連なるワサビ田には絶えず湧き水の流れる音が響きます。わさび田の中に時々生えるハシロギヤ寒冷紗で、わさびの生育に適した日陰の環境を作っています。

大きな異なる石による多層構造の「置石式」は、下層の流水をろ過しながら、わさびに必要な酸素などを供給し、肥料を極力使わずに、茎が太く高品質なワサビが一年中栽培できるのも特徴です。

絶景の筏場のわさび田



雄大な筏場のわさび田での1枚。

で、高価な「根茎」も混ぜ込むぜいたくなわさび漬けです。細かく刻んで大吟醸の酒粕に練りこむと、さわやかなわさびのいい香りが漂います。浅田さんは、本物のわさびの味を地域の子どもたちや訪れる人にも知ってもらいたいと、体験に力を入れる一方で、ニューヨークや韓国の高級レストランなどへ輸出しています。

先日、イギリスから来たお客さんに、収穫したての新鮮なわさびを提供すると、「ビューティフル」と言っていて感激されたそうです。

従業員の野崎さんの他、地域おこし協力隊として東京から柏井さんが来ており、後継者の育成にも力を入れています。

わさびの魅力を五感で体験 伊豆わさびを伝えるミッション

一方で、近年の酷暑は深刻で、一部では品質の低下が起きています。また相次ぐ大雨や台風により、わさび田の崩落や土砂流入といった被害も起きています。これには、地域と行政が一体となって技術の開発や、生産の安定に向けて取り組んでいるところがあります。

こうした中、伊豆市では「わさび」の魅力伝えて地域振興を図るための情報発信拠点「伊豆わさびセンター」を2024年春にオープンさせました。映像やVR体験で歴史を紹介するほか、生わさびとチューブわさびの食べ比べ体験、わさびガイドツアーの案内もあり、五感で楽しむ拠点です。また、伊豆市内の小学校では3年生の地域学習と



伊豆のわさびについて、想いを語ってくれた塩屋美博さん（66歳）

「水のきれいな土地は日本中にあるけど、わさびはどこでもは作れない。土壌や湧き水の成分が適しているからこの伊豆でわさび生産が発展してきた。何百年前のご先祖さまがわさび田を築いてくれたことはすごいこと。みんなで知恵を出し合って後世に続けていかなければ」。

「JAふじ伊豆・伊豆の国わさび委員会の委員長を務める塩谷美博さん（66歳）は、「今のこどもたちは、チューブわさびしか知らない子も多い。実際に生産現場を見て体験して、本物のわさびの味や香りの違いを知ってもらいたい。」と語ります。

また、塩谷さんは、日本の固有種、わさびを百年後も魅力あるものとして継承し続ける理由を語ってくれました。



伊豆市

【大見屋 石庭わさび園】

- 車 / 伊豆縦貫道大仁南1Cから30分
- 電車 / 伊豆箱根鉄道修善寺駅からタクシー20分 東海バス2番乗場筏場行（30分） 地蔵堂下車1分*バスは本数が少ないです。



「あまご茶屋 修善寺温泉店」でいただいた「わさび丼定食」（1,650円）。伊豆のわさびを存分に味わうことができます！



大見屋 石庭わさび園での1枚。左から浅田姫美子さん、浅田譲二さん、従業員の野崎さん（28）、地域おこし協力隊の柏井さん（22）

静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員会 農業振興課

小谷あゆみの「むらレポ」 Vol. 31

フリーアナウンサー / 農業ジャーナリスト 野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしの豊かさを提唱。全国の農村取材。ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員、農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員 棚田学会評議員

小谷あゆみ

野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしの豊かさを提唱。全国の農村取材。ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員、農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員 棚田学会評議員

撮影：うちだしのすけ

地域の宝は世界の宝！

日本一のわさびの里から世界へ、未来へ

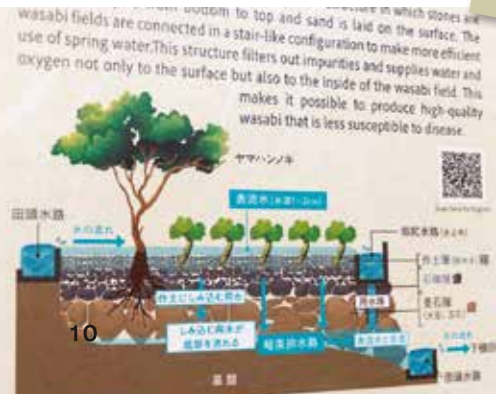
わさび×教育で地域を守る

伊豆半島の中央、天城山系に位置する伊豆市は、山の豊富な湧き水に恵まれ、「日本一の水わさび産地」として知られています。そのうち、筏場、地蔵堂など17地域が集まって活動するのが「日本一の水わさびの邑」です。

伊豆のわさびは市場では高単価で取引され、寿司や和食店での需要はもちろん、近年は欧米やアジアへの輸出も増えています。

伊豆が日本一のわさびの里となった背景には、「置石式」という栽培技術があります。明治時代、石積み職人だった平井熊太郎さんが水をろ過する石積み技術を開発したおかげでわさびの安定生産と品質が高まりました。今ではその技術が全国に広がっています。こうした歴史と伝統の技が評価され、伊豆・静岡地域は平成30年に「世界農業遺産」に認定されています。

まず、訪ねたのは、見学、収穫、加工体験ができる「大見屋 石庭わさび園」です。代表の浅田譲治さんが30年ほど前に、5年の歳月をかけて作った石庭のわさび田があります。奥様の姫美子さんに習って、わさび漬けの手づくり体験にチャレンジ！刻んだワサビの葉や茎に加え





「日本一の水鏡」
(富士市)
撮影者: shin81014_3rd さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月



「桜色の絨毯をひきつめて」
(富士川河川敷)
撮影者: muroatu さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月



「新茶の刈り取り」
(御殿場市)
撮影者: fieldnow3 さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月



「水田とローカル線」
(袋井市)
撮影者: toshi.25photo さん
撮影時期: 令和 6 年 6 月

千厩 (せんがまち) の棚田



「せんがまちの棚田」
(菊川市)
撮影者: toshiboon_0206 さん
撮影時期: 令和 6 年 4 月

第10回
静岡県
農村の魅力
フォトコンテスト
入賞作品発表
#しずおかむらたび春 2024

訪れてみたくなる、過ごしたくなる、
農村の「食」、「文化」、「人々」の
写真・投稿を募集しました。

春のテーマ

「かがやく農村再発見！」



「田遊びの夜」
(藤枝市滝沢)
撮影者: 小沢 大介さん
撮影時期: 令和 6 年 2 月中旬



「田植えの朝」
(小山町竹之下)
撮影者: 西山 昌敏さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月



「手を休めてお見送り」
(島田市川根町抜里)
撮影者: 小栗 進さん
撮影時期: 令和 6 年 4 月



「田植え祭」
(森町)
撮影者: heqiang_nj さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月下旬



「田園の幻想風景」
(富士宮市下袖野)
撮影者: otnky321 さん
撮影時期: 令和 6 年 6 月上旬



「ふたり寄り添って」
(磐田市松之木島)
撮影者: kiyohito.harada さん
撮影時期: 令和 6 年 4 月上旬

第10回静岡県農村の魅力フォトコンテスト
#しずおかむらたび 秋 2024 作品募集中!



2024年10月1日(火)から秋のフォトコンテスト開催中です!
応募期間は12月15日まで。皆様からの多数の応募をお待ちしております!



応募期間

詳しくは「むらサポ」instagramアカウントをチェック!

10/1 Tue ~ 12/15 Sun

今回のテーマは、「心をつなぐ秋の農村」です。

石部赤根田村百笑の里



「煌めく棚田」
(松崎町石部 石部の棚田)
撮影者: 高橋 浩さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月下旬



「柔らかい新芽をたくさん摘むよ」
(牧之原市)
撮影者: yuki_photographer58 さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月上旬

岩本山とかりがね堤を守る邑



「茶刈り」
(富士市 岩本山)
撮影者: gongon1963 さん
撮影時期: 令和 6 年 5 月

那賀地区



「本物は何処だ」
(松崎町)
撮影者: senganmon さん
撮影時期: 令和 6 年 4 月上旬



お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

川根本町 **緑結びの村くのわき**
12月中旬
体験農場「恋がね農園」野菜の加工体験
 【要予約】
 農園で穫れた野菜を使って加工体験 [大根切干作り・サツマイモ干し作り・そば打ち]を行います。
 ■詳しくはホームページをご覧ください
〒410-0201 榛原郡川根本町久野臨地内
体験農場「恋がね農園」
 〇 緑結びのわき地域協議会 大窪
 ☎ 090-2349-9281
 ① 駐車場無料
 体験時間：1時間程度
 体験料：ホームページをご覧ください。



吉田郡 **殿**
12月15日(日)
朝比奈龍勢昆虫館ミニイベント
 地場産品販売、御虫販売、テナント出店
〒410-0201 朝比奈龍勢昆虫館 藤枝市岡部町新舟 1214-5
 〇 朝比奈龍勢昆虫館 原木 亮
 ☎ 054-668-1780

田原地区
12月22日(日) 9時～11時30分
しめ飾り教室【要予約】
 地区の皆さんを対象にしめ飾り教室を開催します。
〒410-0201 磐田市田原交流センター
 〇 田原みどりの会 鈴木卓伯
 ☎ 0538-35-4269

毎月開催イベント

浜松市 **恩地町環境みどり会**
毎月第3日曜9時～9時30分
恩地町みどり朝市
 地産地消のみどり朝市～地元産野菜～中心の即売会です。安全・新鮮・安～い
〒410-0201 恩地町公舎屋外広場 浜松市中央区恩地町 443 番地
 〇 恩地町環境みどり会 見野 ① 駐車場有 無料
 ☎ 053-426-2888



藤枝市 **市之瀬**
11月24日(日)10時～15時
おかえりな祭市之瀬へ
 恒例のウォークラリーや緑側カフェに加え、市之瀬で制作活動を行う2人のアーティストの作品やアトリエを公開します。
〒410-0201 藤枝市瀬戸ノ谷 7509-3
 〇 市之瀬交流ヴィレッジおかえり他
 〇 市之瀬盛り上げ隊 森脇
 ☎ 090-4953-2547
 ① 駐車場あり無料

December 12月

浜松市 **和地ふるさと会**
12月7日(土)8日(日)9時～17時
和地協働センターまつり
 活動内容の揭示他イベントを予定
〒410-0201 和地協働センター (浜松市中央区和地町 6578)
 〇 和地協働センター
 ☎ 053-486-0253 (平日)
 浜松駅①のりば 30
 龍山寺温泉行で湖東団地下車 10分
 駐車場あり無料
 当日は小学生 県内の路線バス無料* 下記参照

ハッピーライド in 静岡プロジェクトのお知らせ

12月7日、8日は小学生バス無料!

この機会にさまざまな邑を訪れてみてはいかがでしょうか。



御殿場市 **二子湧水の里**
12月中旬
水かけ菜オーナー募集【要事前申込】
 特産品「水かけ菜」のオーナー募集。
 1区画 (5㎡) 2,000円。収穫量は生葉で8kg程度
 摘み取り適期：2月上旬～3月中旬
〒410-0201 二子公民館 御殿場市二子 366-1
 〇 J A ふじ伊豆富士岡宮農センター
 ☎ 0550-87-1014



磐田市 **田原地区**
11月中旬～下旬
大豆の収穫体験 見学のみ
 田原小3年生が、大豆の収穫体験を行います。
〒410-0201 磐田市三ヶ野地区 (田原小南側)
 〇 田原みどりの会 鈴木卓伯
 ☎ 0538-35-4269

川根本町 **緑結びの村くのわき**
11月中下旬
体験農場「恋がね農園」秋の収穫体験
 【要予約】
 秋の野菜 [大根・里芋 (ハツ頭)・そば・じゃがいも・大豆] の収穫体験を行います。
 ■詳しくはホームページをご覧ください
〒410-0201 榛原郡川根本町久野臨地内
体験農場「恋がね農園」
 〇 緑結びのわき地域協議会 大窪
 ☎ 090-2349-9281
 ① 駐車場無料
 体験時間：1時間程度
 体験料：中学生以上 1,200円
 小学生 700円 未就学児 200円



藤枝市 **殿**
11月17日(日)
朝比奈龍勢昆虫館ミニイベント
 地場産品販売、御虫販売、テナント出店
〒410-0201 朝比奈龍勢昆虫館 藤枝市岡部町新舟 1214-5
 〇 朝比奈龍勢昆虫館 原木 亮
 ☎ 054-668-1780

静岡市 **清沢**
11月23日(祝・土)15時～24日(日)未明
清沢神楽大祭 2024
 県無形民俗文化財に指定された清沢神楽の約20の演目・祭儀を披露するとても貴重な機会です。
〒410-0201 静岡市葵区黒俣 (旧峰山小学校で乗り換えて現地へ)
 〇 清澤神楽保存会
 ☎ 054-295-3111 (清沢地区センター)
 ① 駐車場が限られています。乗り合わせのうえ、係の案内に従って駐車をお願いします。

藤枝市 **殿**
11月24日(日)
滝ノ谷不動峡もみじまつり
 不動峡一帯のもみじが真っ赤に染まる中、地元で採れた新鮮な農産物販売等が行われ、藤枝の秋の味覚を堪能できます。
〒410-0201 滝ノ谷不動峡 山の市広場 (藤枝市 瀬戸ノ谷)
 〇 藤枝市観光案内所
 ☎ 054-647-1144 小雨決行・荒天中止

浜松市 **ほっと龍山**
11月17日(日) 10時～15時
食体験 (重陽の節句体験)
 やまいもほり体験～とろろご飯
 いの子ばたもちづくり
〒410-0201 龍山町 天竜区龍山町瀬尻
ドラゴンママ加工場
 〇 代表 玉本君枝
 ☎ 053-968-0011
 参加費：おひとり /3,500円 10歳以下 2,000円



掛川市 **とうもんの里**
11月17日(日)
秋のキッズフェス
 田んぼで遊ぼう！えびす講の料理を食べよう！大学生主催のイベントと、和つなぎ食堂のコラボ企画です。
〒410-0201 掛川市山崎 233 とうもんの里総合案内所
 〇 NPO 法人とうもんの会
 ☎ 0537-48-0045
 参加費：大人 400円 子ども 100円

南伊豆町
11月17日(日) 8時スタート
第1回 南伊豆町
みちくさぼちぼちフルマソン
 町内で約42kmのフルマソンを開催します。
 制限時間 9時間のゆるいマソンで、南伊豆の絶景と約11カ所のエイドがランナーたちを向かい入れます。
〒410-0201 南伊豆町内 (青野川ふるさと公園スタート)
 〇 南伊豆町みちくさウルトラマソン実行委員会
 ☎ 0558-62-0141
 ① 駐車場無料
 参加費：一般 /12,000円 (18歳未満は 8,000円)
 町民割引あり



掛川市 **葦山金谷**
11月2日(土)～11月3日(日) 17時～20時
江川邸竹灯り
「灯そう 2024 江川邸の庭へ」
 重要文化財「江川邸」内に設置された2000本以上の竹灯籠が、皆さんを幻想的な夜に包み込みます。
 両日ステージイベント、竹灯り夜市が開催されます。
 ※イベント開催時間外に、江川邸の施設を見学する場合は江川邸入場料がかかります。
〒410-0201 伊豆の国市葦山葦山1番地 江川邸及び周辺
 〇 江川邸竹灯り実行委員会事務局 柴田
 ☎ 090-6335-4333
 入場料：大人、高校生以上 300円



静岡市 **清沢**
11月10日(日) 9時～13時
清沢秋まつり
 清沢神楽の奉納や、焼きたてよもぎきんづば、清沢レモン商品などを楽しむことができます。
〒410-0201 静岡市立清沢小学校
 〇 清沢秋まつり実行委員会
 ☎ 054-295-3111 (清沢地区センター)
 ① 駐車場が限られています。乗り合わせのうえ、係の案内に従って駐車をお願いします。

浜松市 **水窪地区**
11月10日(日) 10時～14時
第27回みさくぼ夢街道
 地域の物産展示及び即売
〒410-0201 水窪支所前 駐車場
 〇 天竜区観光協会水窪支部 ☎ 053-987-2100
 ① 臨時駐車場あり無料

浜松市 **村櫛地区**
11月初旬予定8時30分～11時30分
さつまいもの収穫体験
 5月に親子で植え付けたさつまいもを収穫。
 焼き芋にさせていただきます。
〒410-0201 浜松市中央区村櫛町臨海 (ヒマワリファーム横)
 〇 むらちやネット 松下康文 ☎ 090-4867-5684
 ① 駐車場あり無料

Event Calendar 2024 令和6年 Autumn



あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 静岡県経済産業部農地局農地保全課 FAX 054-221-2809 E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。 ※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます。 ※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。

October 10月

磐田市 **田原地区**
10月中旬
さつま芋掘り体験
 田原小1～2年生が、さつま芋掘り体験を行います。
〒410-0201 磐田市三ヶ野地区 (田原小南側)
 〇 田原みどりの会 鈴木卓伯
 ☎ 0538-35-4269
 見学のみ

掛川市 **とうもんの里**
10月20日(日) 9時～13時
さつまいもフェア
 さつま芋収穫体験、さつま芋カレーでランチ
〒410-0201 掛川市山崎 233 とうもんの里総合案内所
 〇 NPO 法人とうもんの会
 ☎ 0537-48-0045
 参加費：大人 1,000円 子ども 500円 お土産付き

浜松市 **水窪地区**
10月27日(日) 10時30分～12時30分
第34回峠の国盗り綱引き合戦
 浜松市天竜区水窪の「遼州軍」と長野県飯田市南信濃の「信州軍」が、「泉境」をかけて綱引き対決をします。
〒410-0201 ヒョー越峠 (静岡県と長野県の県境)
 水窪支所先の臨時駐車場よりシャトルバス
 〇 天竜区観光協会水窪支部
 ☎ 053-987-2100
 会場には駐車場がありません。シャトルバスをご利用ください